

こころの風 花家族 会報誌 Vol.18  
2019 November

# こころの風 通信

- 大規模自然災害
- 事業活動で社会貢献

葬儀屋さんの  
ドタバタ日記

作: オウスケ  
ousuke.com



- 2019年9月 これから楽交@東京ベイ レポート
- 明日も元気に ~早めのインフルエンザ対策で冬に備えを~
- 旬の食彩 ~鰻(うなぎ)~
- 実はこれも仏教用語 ~図に乗る~
- 葬儀保険 千の風 ご案内

ご葬儀や、事前相談などで「十人十色の家族葬 こころの風」の  
無料会員 花✿家族会員に登録していただきました  
ご家族の皆様へ会報誌をお届けいたしております

株式会社 こころの風  
〒272-0142 千葉県市川市欠真間 1-4-5  
TEL 047-712-5981

85歳 10カ月  
まで申込可能

葬儀保険 千の風

~葬儀費用は準備できていますか?~

お葬式費用は家族に  
負担をかけず  
自分たちで準備したい

大切な両親の葬儀に  
かかる費用は  
自分たちで準備したい

千の風は「あなた」のための、「家族」のための保険です!

保険金定額 50万円保障プランの場合

65歳の場合 → 月々の保険料 1,000円

75歳の場合 → 月々の保険料 1,750円

保険金の支払いも迅速です!お客様の声をご紹介します!

1人暮らしい老人には、とても助かると思ってました。速く使える金がほしい  
という事は、何をするにせん心感が立ったように思いました。  
ありがとうございました。

77歳男性・Nさん

【千の風 1年更新型定期保険】一定期間の死亡保障を確保する、満期保険金、解約返戻金のない保険商品です。  
ご契約の際には「重要事項説明」「約款」を必ずお読みください。

ベル少短 - 資料-1812-003

お気軽にご連絡ください TEL.047-712-5981 【取扱代理店】株式会社こころの風  
【受取保険会社】ベル少額短期保険株式会社 登録番号:福岡財務支局長(少額短期保険)第1号

実はこれも 仏教用語  
図に乗る (づにのる)

「図に乗る」とは、もとは「お経の唱え方にちなんだ仏教用語」です。我々がよく耳にする一本調子のお経ではなく「声明」や「梵唄」と呼ばれている音程や節があるお経についてのこと、これは經典のお経の横に記号や模様がかかっていて、その図を見ながらお経を唱え、図のとおりに上手く唱えることができれば「図に乗っていた」と讃められることができたようだ。つまり本来は褒め言葉だったのです。しかし図に乗りすぎて天狗になる者もいたようで、意味合いは変化し、「図に乗りすぎてつけあがること」というマイナスの意味が主たる意味になったようです。

葬儀屋さんのドタバタ日記  
NO.13

これから楽交@東京ベイ  
終活セミナー&フラワーアレンジメント

場 所: レンタルスペースエミング (市川市相之川 3-2-13)  
参加費: 500円 (モンゴルへの植林代・花材代込み)

11/30 土曜日 14時~16時 終活セミナー テーマ  
「家紋」で読み解くあなたのルーツ  
ご自分の家の「家紋」を知っていますか

講師: 有限会社ワーズオン 代表取締役 鈴木 佐知子さん

お申込み・お問い合わせは  
TEL 047-712-5981 まで



十人十色の家族葬 こころの風

市川本店 〒272-0142 千葉県市川市欠真間 1-4-5  
浦安支店 〒279-0001 千葉県浦安市当代島 3-3-1  
東京支店 〒105-0004 東京都港区新橋 1-12-9 A-PLACE 新橋駅前 7F  
■ TEL 047-712-5981 ■ FAX 047-712-5987  
■ ホームページ <https://www.kokoronokaze.co.jp>  
■ E-mail [info@kokoronokaze.co.jp](mailto:info@kokoronokaze.co.jp)  
■ LINE@ID [@kokoronokaze](https://line.me/R/ti/p/%40kokoronokaze)

\* 電車の場合 東西線「南行徳駅」より徒歩 15 分

\* お車の場合 行徳バイパス「京葉市川IC」から浦安駅方面に進み 行徳郵便局先「セブンイレブン」向い側

会報誌は年4回 郵送にてお届け予定です。

郵送ではなくメールでの配信を希望の場合には、

ホームページの【お問い合わせフォーム】詳細の欄へ

「会報誌メール希望」と入力の上メールにてご連絡をお願いいたします。

メールでの配信は会報誌の内容を数回に分けて発信いたします。

事前相談 や 万が一の際は  
24時間・365日  
お気軽にお問い合わせ下さい  
0120-19-5562



# 大規模自然災害

今回、台風15号による家屋倒壊や停電被害また台風19号による河川の越水決壊による家屋の浸水被害そして台風21号の影響で低気圧が活発になり1日で一月以上の降水量をもたらし河川の氾濫土砂災害をもたらすこととなりました。亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

本来、台風が日本列島に近づくと海面温度が低くなるため勢力が衰えるそうです。ですが、近年温暖化現象の影響で日本近海の海面温度が上昇して、発達した台風が勢力を維持したまま日本列島を襲うケースが多くなっています。毎年のように襲う可能性があるかも知れません。

千葉県では、台風15号の強風による停電被害の確認が進まず、復旧にも時間がかかり、二次災害ともいえる熱中症によりお亡くなりました。そのような活動は、「慈善活動をやっているだけ」と思われるかもしれません。しかし直接利益を生まないため、たとえ思いついても計画し、実行するには相当な調整とパワーが必要で、何よりも社会貢献への強い意志が必要となります。

この数年の異常気象は少なからず温暖化の影響があると言われて未 来のこと で、今現在、我々が暮らしているこの世界に、こうした活動は大きな意味があると私たちにい らっしゃいます。

## 2019年9月 これから楽交@東京ベイ レポート

9月28日(土曜日)終活セミナーとフラワーアレンジメントの2部構成でこれから楽交を開催しました。

終活セミナーは「相続のキホン」をテーマに、深川よろず相談所・税理士 星山輝先生・税理士 新井康友先生を講師にお迎えしてお話を伺いました。

平成27年の相続税大改正により相続のかからない基礎控除の額が大きく引き下げられ、相続税が身近な問題となっていました。誰にでも起こる相続の問題、文字だけ見ると難しい問題も講師の先生より資料配布と説明を受け具体的に理解頂けたようですが、終了後には質問も相次ぎました。質問をいただくことは今まであまりないと、講師の先生も意外性に喜ばれいらっしゃいました。



「フラワーアレンジメント講座」は秋らしい生け花。花材はススキ、りんどう、ケイトウ、ピンポンマム、唐辛子、ポリシャス、カーネーション。和モダン風な花材です。りんどうの青紫、ケイトウ、唐辛子の赤にグラデーションのカーネーションとピンポンマム、それにポリシャスの緑の爽やかな感じ、最後にススキの秋感で仕上げ完了。という趣のあるフラワーアレンジメントでした。ご参加いただいた皆さまは席に着かれると間もなく積極的に始められ、いつもよりさらに短時間で上手にご一緒に時間を楽しんでいたご様子でした。次回は11月30日(土曜日)、今年最後のこれから楽交を開催いたします、お楽しみに!

文・本山



長期の視野が必要ですが、いまから私たちと始めてみませんか?

うか。

私たち「こここの風」は、持続可能な社会を次世代に引き継ぎたいと考え、「次世代を育む環境づくりと人づくり」をテーマに、社会貢献活動に取り組んでいます。企業の中の個々人は、企業の理念をよく理解し、その行動指針を身をもつて実践していくべきであると考えています。我々は、企業としての考え方に基づき、ごみの分別、周辺の掃き掃除、ペットボトルキャップの回収等、個々人が率先して地域社会のために活動しています。今、日本企業の多くが取り組んでいる社会貢献活動は「環境保護」です。その内容は、環境汚染の防止・生物の保護・植林活動などです。ご葬儀には必ず火葬があります。それによって使用されるエネルギー(灯油等)一回につき排出される温暖化ガスは、ひとりの人間が一年間に呼吸する量に匹敵します。それを地球上に供給するため、私たちは積極的に植林活動を続けてい

る豪雨に際し、千葉市緑区の土砂災害はハザードマップには掲載されていなかったところでした。今まで経験のない膨大な雨量によるところが大きいのでしょうか。自治体には今後の課題が浮き彫りになったのかも知れません。

以前私は、『新しい「令和」の時代に思う』と題して会報紙に書かせていただきました。その中で、「平成は災害の時代だったのかもしれません。令和は家族のみならず、会社や地域社会と関わりを持ち明るい時代を築いてゆきたいと思いま

す」と結ばせていただきました。東日本大震災の際、いち早く救援活動で現地に行かれたのは阪神・淡路大震災を経験した方々と聞いています。今回の災害でも多くのボランティアの方々の姿をニュース等で目にします。東日本大震災の被災地でアジア初のラグビーワールドカップの開催となつた日本の釜石市で、台風19号の影響で試合が中止となりましたが、カナダの選手たちがボランティアで汗を流している姿がニュースで流れています。国や人種にとらわれず助け合う事の大切さを学んだ気になります。

文・永山

## 旬の食彩 ~鰻(うなぎ)~

天然うなぎは冬眠に向けて養分を蓄える秋の終わりから冬の初めにかけてが美味しい時期です。真夏の土用の時期にうなぎを食べる習慣が定着していますが、それは平賀源内がうなぎ屋に夏の売上の落ち込みを相談されて提案したキャンペーンと言われています。うなぎには、ビタミンA、ビタミンB1、ビタミンB2が含まれています。最近は高価になりましたが、機会がありましたら旬のうなぎを是非とも、ご堪能してみてください。



## 明日も元気に

~早めのインフルエンザ対策で冬に備えを~

毎年この時期になるとインフルエンザやノロウイルスなどの感染症の話題をよく聞きます。インフルエンザやノロウイルスなどのウイルスは低温で空気が乾燥していると活発になるそうです。人は寒くなると体温の低下、空気の乾燥などの影響で免疫力が低下し病気になりやすくなります。外出後は手洗いやうがい等で予防し、さらに予防接種が効果的です。

